10 表示器のログデータ を読み出したい!

10.1	表示器のログデータをアップロードしてみよう!	10-2
10.2	設定ガイド	
10.3	制限事項	

10.1 表示器のログデータをアップロードしてみよう!

【動作例】

表示器の CF カードに保存されているアラームログデータを、毎日 15:00 に CSV ファイルへ書き込む

	ſ						
		A	В	С	D	E	
	1	異常ログ	報告書				
	2	 発報日付	発報時刻	メッセージ	確認時刻	復旧時刻	
		2007/12/20	10/30/00			10:35:00	
パソコン	5	2007/12/20	11:00:00	ラインB速度異常	11:32:00	11:32:30	
(局名:PC1)	6	2007/12/20	11:30:00	ラインA電力異常	11:33:00	11:35:30	
	7	2007/12/20	12:00:00	ラインBライン詰まり	12:03:00	12:05:30	
	8	2007/12/20	12:30:00	ラインC電力異常	11:32:00		
	9						
	10)					
	11						
	12						
	13	1					
	4.4						
	\subseteq						
		毎日	15:00				
GP3000 (局名:AGP1)		ラーム ストリ					

この節では、例として、上記の動作(アクション)を行うための設定を順番に説明します。

MEMO ・ アラームの詳細については、『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』をご覧ください。

【設定手順】	
--------	--

1	『Pro-Studio EX』の起動(10-4 ページ)	『Pro-Studio EX』を起動します。
2	参加局の登録(10-4ページ)	パソコンと表示器を参加局として登録します。
3	機能(アクション)のパラメータ設定 (10-5 ページ)	アクションの詳細を設定します。
4	起動条件の設定(10-10ページ)	ログデータを読み出す条件を設定します。
	+	
5	アクションが受け取るデータの設定 (10-12 ページ)	ログデータを設定します。
6	アクション動作局 / 処理完了通知の設定 (10-14 ページ)	アクションの動作局およびアクションが実行さ れたことの通知の有無を設定します。
7	設定内容の確認(10-16ページ)	設定内容一覧画面で、設定した内容を確認しま す。
8	ネットワークプロジェクトファイルの保 存(10-18 ページ)	設定した内容をネットワークプロジェクトファ イルとして保存し、リロードします。
9	ネットワークプロジェクトファイルの転 送(10-18 ページ)	保存したネットワークプロジェクトファイルを 表示器に転送します。
10	アクションの実行(10-19ページ)	設定した起動条件が有効になると、表示器のロ グデータが読み込まれることを確認します。

10.1.1 『Pro-Studio EX』の起動

『Pro-Studio EX』を起動します。 起動方法の詳細については、「第3章 かる~く Pro-Server EX を体験してみませんか?」をご覧くだ さい。

10.1.2 参加局の登録

ネットワークに接続しているパソコンと表示器を、参加局として登録します。 参加局の詳細については、「第31章 参加局登録について」をご覧ください。



局名	: PC1
IPアドレス	: 192. 168. 0. 1



局名	: AGP1
IPアドレス	: 192. 168. 0. 100
接続機器情報	

設定例

参加局	設定項目	設定内容
1827-22	局名	PC1
	IP アドレス	192.168.0.1
	種類	GP3000 シリーズ
表示器	局名	AGP1
	IPアドレス	192.168.0.100

10.1.3 機能(アクション)のパラメータ設定

データを CSV 形式のファイルに書き込むための設定 (パラメータ設定)を行います。 アクションパラメータの詳細については、「10.2 設定ガイド」をご覧ください。



設定項目	設定内容
アクション名	ログデータアップロード
読み出し元	CF カードのバックアップデータ
GP タイプ	GP4000/LT4000 シリーズ GP3000 シリーズ WinGP LT3000
読み出すデータ選択	アラームブロック 1
保存先	デスクトップ
保存ファイル名	GP ログデータ
ゼロサプレス	適用する
保存方法	データ追加
既にデータが開かれてい る時	処理を終了
保存形式	CSV 形式

1 状態バーの [機能] アイコンをクリックします。

🂱 Pro-Studio EX 🛛 ?.npx	
ファイル(E) 編集(E) ツール(I) プログラ ジェート ン () 参加局	5ミング補助(P) 設定(S) ハルブ(H) → シンボル → そ 機能 → 一 保存
ーサンブルウィザード 新規にネットワークを構築します。 サンブルを選択してください。	
■ 帳票作成	2Wayネットワークとは
№ レシピ	GPおよびGPに接続されている多くのFA機器(接線 票を作ったり、Accessなどデータベースの情報を接線 パンコンとをつなぐネットワークです。
 	Pro-Studio EXとは

2 画面左のツリー表示から、[アクション]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



3 [アクションの種類]のリストボタンをクリックし、「GPログデータアップロード」を選択します。 続いて、[アクション名]に設定するアクション名「ログデータアップロード」を入力します。

MEMO • [アクション名]には、任意のアクション名を設定できます。

アクション名/パラメータの設定 新規にアクションを追加します。 アクション名を指定し、パラメータを設定してください。
アクションの種類 EXCEL帳票
EXCEL帳票 CSVファイルヘデータを書き込む CSVファイルからデバイスヘデータを書き込む CSVファイルからデバイスヘデータを書き込む GP ログデータのアップロード Mailでデータ送信 データベースからのダウンロード
次へ キャンセル

4[ここをクリックしてアクションのパラメータを設定してください。]ボタンをクリックします。



5 読み出しに関する設定を行います。

詳細設定			
読み出し元: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- GPタイプズ GP4000/LT40005ハリーズ GP30005ハリーズ WinGP LT3000	読み出すデータ選択: アラームブロック1 アラームの種類 © アクティブ	EX Version 1.32 ・ C ヒストリ C ログ
	© GPシリーズ		

設定項目	設定内容
読み出し元	[CF カードのバックアップデータ] をチェック
GP タイプ	[GP4000/LT4000 シリーズ GP3000 シリーズ WinGP LT3000] を チェック
読み出すデータ選択	[アラームプロック1]を選択

6 保存に関する設定を行います。

保存先	
C:	•
C¥ Documents and Settings Administrator	
保存ファイル名	
GPログデータ	•
 ✓ ゼロサブレス ○ 常に新規ブックを作成 ○ データ追加 	
┌既にブックが開かれている時	┌保存形式
● 処理を終了	□ XLS 形式
○ 一時ブックにデータを書き込む	▼ CSV 形式

設定項目	設定内容
保存先	デスクトップ
保存ファイル名	[GP ログデータ] を入力
ゼロサプレス	チェック
データ追加	チェック
既にデータが開かれてい る時	[処理を終了]をチェック
保存形式	[CSV 形式] のみをチェック

%Y%M%D%h%m%sとは

データが書き込まれた時刻「年_月_日_時分秒」の書式でファイル名を作成します。 (例) 2007 年 12 月 15 日 9 時 50 分 15 秒にデータが書き込まれたファイル名は、 「2007_12_15_095015」となります。

詳細については、「37.1 名前の制限事項」をご覧ください。

7[OK]ボタンをクリックします。

ProCsv X	Ī
保存形式がXLS形式の時のみ有効です。	

8 何も設定せずに [OK]ボタンをクリックします。

詳細設定 書込みパターン		1.4		OK
4	\rightarrow		Ļ	戻る
 書込み範囲限3 セル範囲を限定 	E	35536	範囲参照	
□ 「 項目名あり ○ 項目名なし	Ju			
 ● Excelの表示 ○ 非表示 				
 ⊙ タイムスタンプ ○ タイムスタンプ 	ೆಹುಗೆ ಗಿದ್ದ			

MEMO	•	この画面は、	Excel 形式で読み込む場合のみ設定する画面です。
------	---	--------	----------------------------

以上で、機能(アクション)の設定は終了です。

10.1.4 起動条件の設定

デバイスデータを読み出す起動条件を設定します。 起動条件の詳細については、「第33章 起動条件について」をご覧ください。

設定例

- ・ 起動条件名

 :定時に収集する
- 起動条件 : 毎日 15:00

1「アクション名/パラメータの設定」画面で、[次へ]ボタンをクリックします。

アクション名/パラメータの設定 🛛 🛛
新規にアクションを追加します。 アクション名を指定し、パラメータを設定してください。
アクションの種類 GP ログデータアップロード
□ 旧バージョンのPro-Serverのアクションを表示する
アクション名ログデータアップロード
ここをクリックしてアクションの パラメータを設定してください。
次へ しょう キャンセル

2[新しい起動条件]ボタンをクリックします。

ウションの起き	勧条件の設定	×
アクションの	種類 GP ログデータアップロード]
アクショ	ョン名 ログデータアップロード	
アクション(の起動条件を指定してください。	
起動条	:/+	
	新しい起動条件	
アクション(の起動条件を指定してください。 件 新しい起動条件	

3[起動条件名]に、起動条件名「定時に収集する」を入力し、[局名]に、データ転送元局となる局名 「AGP1」を選択します。



MEMO
• ここで設定する局名は、起動条件となるデバイスを持つ参加局または転送するデータを 持つ参加局を指定します。

^{③ 『}「第33章 起動条件について」

4 [条件 1] タブの [指定時刻] ボタンをクリックし、指定時刻「15:00」を設定して [OK] ボタンをクリックします。

条件1					
起動条件を打	皆定してください。				
.	電源投入時		デバイスON中		条件式成立中
Ġ	指定時刻	E	デバイスOFF中	1	条件式成立時
0	一定周期		デバイスON時		相手局電源投入時
	デバイス変化時		デバイスOFF時	8	相手局電源切断時
指定	指定時刻 15 時 0 分				

 MEMO・ 起動条件については、2 種類の異なる条件の組み合わせ(「かつ」(and 条件)、「または」 (or 条件)により設定することもできます。
 「第 33 章 起動条件について」

以上で、起動条件の設定は終了です。

10.1.5 アクションが受け取るデータの設定

アクション動作時に転送するデータを設定します。

 設定例

 ・ 転送する定数値

1「アクションの起動条件の設定」画面で、[次へ]ボタンをクリックします。

アクションの起動条件の設定
アクションの種類 GP ログデータアップロード
アクション名ログデータアップロード
アクションの起動条件を指定してください。
起動条件
新しい起動条件
定時に収集する
参加局 AGP1
15時0分になったとき
戻る 次へ 入 キャンセル

2[定数値]をクリックしたあと、テキストボックスに転送する定数値「1」、[個数]に「1」を入力します。

アクションの種類 GP ログデータアップロード アクション名 ログデータアップロード このアクションは起動局から ファイル番号 マデータとして受け取り動作します。データ値には起動局のデバイス値か定数 をポータとして受け取り動作します。データ値には起動局のデバイス値か定数 転送元 参加局 「AGP1 機器名 ボINTERNAL マ で 定数値 「 「 データタイプ 16ビット(符号付き) (回数) 1 =	アクションが受け耳	又るデータの設定		
アクション名 ログデータアップロード このアクションは起動局から ファイル番号 をデータとして受け取り動作します。データ値には起動局のデバイス値か定数 をデータを指定してください。 転送元 参加局 「AGP1 (株器名) 様認名 マ ボINTERNAL マ ・ 定数値 1 ・ 定数値 1 ・ 定数値 1	アクションの種	類 GP ログデータアップロ	エード	
このアクションは起動局から ファイル番号 をデータとして受け取り動作します。データ値には起動局のデバイス値か定数を利用できます。データを指定してください。 転送元 参加局 [AGP1] 機器名 #INTERNAL デガバイスアドレス ご デガバイスアドレス ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご 「 ご <t< td=""><td>アクション</td><td>名ログデータアップロード</td><td></td><td></td></t<>	アクション	名ログデータアップロード		
ファイル番号 をデータとして受け取り動作します。データ値には起動局のデバイス値か定数を利用できます。データを指定してください。 転送元 参加局 [AGP1] 機器名 #INTERNAL ご デパイスアドレス ご デパイスアドレス ご デパイスアドレス ご デンタタイプ 16ビット(符号付き) (回数) 1:1	このアクションは	起動局から		
をデータとして受け取り動作します。データ値には起動局のデバイス値か定数 を利用できます。データを指定してください。 転送元 参加局 AGP1 機器名 縦INTERNAL で デバイスアドレス ご で 定数値 1 データタイプ 16ビット(符号付き) 個数 1 ::	ファイル番号			
転送元 参加局 AGP1 根器名 #INTERNAL ご デバイスアドレス ご 定数値 1 データタイプ 16ビット(符号付き) (個数 1 =)	をデータとして受	とけ取り動作します。デー	タ値には起動局の	デバイス値か定数
転送元 参加局 [AGP1 (根器名 (#INTERNAL) (* デバイスアドレス) (* 定数値 [1 データタイプ [16ビット(符号付き)) (個数 1 =)	を付け出てきます	。ナーダを指定してんで	, o	
参加局 AGP1 機器名 #INTERNAL で デバイスアドレス 一 で 定数値 1 データタイプ [16ビット(符号付き) (個数 1 ±) 「 「 」	─転送元 ──			
[AGP] 機器名 #INTERNAL ご デバイスアドレス ② ○ 定数値 [1 データタイプ [16ビット(符号付き) (個数 11)	参加局			
#INTERNAL ● デパイスアドレス ● 定数値 1 データタイプ [16ビット(符号付き) ● 回数 1 ±	AGP1 維器タ			
C デバイスアドレス ・ 定数値 「 データタイプ [16ビット(符号付き) 個数 1 == 「 」	#INTERNA			v
・ ご ・ 定数値 1 1 データタイプ 16ビット(符号付き) (個数) 1	, 0 7 17427	KU2		
 定数値 1 データタイプ [16ビット(符号付き) (個数 1 ±) 				
 ・				
□ データタイプ [16ビット(符号付き) 個数 1 == ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	・正叙値			
	データタイプ	16ビット(符号付き)		
				×.
戻る 次へ キャンセル		戻る	次へ	キャンセル

- MEMO
 シンボルやデバイスアドレスを指定し、格納されている値を転送データとすることもで きます。
- 以上で、アクションが受け取るデータの設定が終了しました。

10.1.6 アクション動作局 / 処理完了通知の設定

アクションが動作する局名、およびアクションが実行されたことの通知の有無を設定します。



受信通知 :なし

1「アクションが受け取るデータの設定」画面で、[次へ]ボタンをクリックします。

 C デバイスアドレス
◎ 定数値
1 デーカルイナ 16ピット(符号(寸考)) (個数) 1 二
戻る 次へ キャンセル

2[動作局]のリストボタンをクリックし、アクションが動作する局名「PC1」を選択し、[受信通知あ り]がチェックされている場合は、チェックを外します。

PC1 PC1 日 受任法通知	<u>ap</u>
アクション アクション	の実行をしらせるデバイスを指定してください。 実行後、Onします。
	機器名
	#INTERNAL
	通知先デバイス
	<u>.</u>
	データタイプ <mark>ビット</mark>

■EMO ・「受信通知」を設定すると、アクション完了後に、指定したビットデバイスが ON になります。2 つ以上のアクションを連続して実行する場合、次のアクションの起動条件として使用することができます。

「第33章 起動条件について」

3[完了]ボタンをクリックします。

「アクション動作局/処理完了通知設定」画面が閉じ、画面左に、設定したアクション名および起動条 件名が表示されます。



以上で、アクション動作局および処理完了通知の設定が終了しました。

10.1.7 設定内容の確認

設定内容の一覧画面で、設定した内容を確認します。

1 画面左のツリー表示から、アクション名「ログデータアップロード」をクリックします。



設定した内容が、画面右に表示されていることを確認します。

	_ 🗆 ×
「ラミング補助(P) 設定(5) ヘルプ(H)	
- シンボル - シンボル - シ え 機能 - シ 日 保存 - ン 🛕	載 転送
「アクション別の起動条件/処理一覧	- アクション
道加」編集」解除	アクションの削除
データ元局 AGP1	ログデータアップロード 💌
起動条件 15時0分になったとき データ	名前の変更
处理完了通知	GP ログデータアップロード
	パラメータ設定
L	▶動作局
	PC1

2 画面左のツリー表示から、起動条件名「定時に収集する」をクリックします。



設定した内容が、画面右に表示されていることを確認します。

ラミング補助(P) 設定(5) ヘルプ(H)						
>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	» 🗄	保存 >				監視
起動条件		起重	條	件別シー	レス図	
		縮小表示	ŧ	P	クション/データ転送	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	機能名	元		先	受信/処理完了通知	
定時に収集 ▲ 編集 参加局[AGP]	機能名 ログデータ	元 AGP1.#I	->	先 PC1.ログ	受信/処理完了通知	
□ 定時に収集 _ 編集 参加局 AGP1	機能名 ログデータ	元 AGP1.#L.	->	<u>先</u> PC1.ログ	受信/処理完了通知	·
定時に収集 ▲ 編集 参加局 AGP1 15時0分になったとき	機能名 ログデータ	元 AGP1.#L.	->	<u>先</u> PC1.ログ	受信/処理完了通知	
□ 定時に収集 _ 編集 参加局 AGP1 15時0分になったとき	<u>機能名</u> ログデータ	元 AGP1.#I	->	<u>先</u> PC1.ログ	受信/処理完了通知	
 定時に収集 参加局 AGP1 15時0分になったとき 	機能名 ログデータ	元 AGP1.#I	->	<u>先</u> PC1.ログ	受信/処理完了通知	
定時に収集 ▲ 編集 参加局 AGP1 15時0分になったとき	機能名 ログデータ	元 AGP1.#L.	->	<u>先</u> PC1.ログ	受信/処理完了通知	

以上で、設定内容の確認が終了しました。

10.1.8 ネットワークプロジェクトファイルの保存

設定した内容を、ネットワークプロジェクトファイルとして保存し、『Pro-Server EX』にリロードします。

ネットワークプロジェクトファイルの保存については、「第25章 保存について」をご覧ください。

重要 • 『Pro-Server EX』は、ネットワークプロジェクトファイルを読み込み、そこに設定され た内容によりアクションを実行します。したがって、設定した内容は必ずネットワーク プロジェクトファイルとして保存する必要があります。

ネットワークプロジェクトファイルの『Pro-Server EX』へのリロードは必ず行ってください。リロードを行わないとアクションが動作しません。

設定例

- $\pi = \pi + \frac{1}{2} + \frac{1}$
- タイトル : GP ログデータアップロード
- 10.1.9 ネットワークプロジェクトファイルの転送

保存したネットワークプロジェクトファイルを、『Pro-Server EX』にロードし、参加局に転送します。 ネットワークプロジェクトファイルの転送については、「第 26 章 転送について」をご覧ください。



10.1.10 アクションの実行

起動条件が有効になった時点で、アクションが動作して CSV ファイル(ファイル名:「GP ログデータ.csv」)が開き、表示器のログデータが書き込まれることを確認します。

		A	В	С	D	Е	F
	1	異常ログ報告	書				
	2						
	3	発報日付	発報時刻	メッセージ	確認時刻	復旧時刻	
	4	2007/12/20	10:30:00	ラインAライン詰まり		10:35:00	
	5	2007/12/20	11:00:00	ラインB速度異常	11:32:00	11:32:30	
	6	2007/12/20	11:30:00	ラインA電力異常	11:33:00	11:35:30	
	7	2007/12/20	12:00:00	ラインBライン詰まり	12:03:00	12:05:30	
	8	2007/12/20	12:30:00	ラインC電力異常	11:32:00		
I	9						

<u>MEMO</u>・エラーが発生した場合、ログビューアでログを確認することができます。詳細について は、「28.5 システム稼動ログが見たい!」をご覧ください。

 Excel に出力する際、日付データは「20yy/mm/dd」(または「19yy/mm/dd」)の形式で出 力されます。ただし CF カード内の CSV ファイルの日付データが「yy/mm/dd」の形式で ない場合は、この限りではありません。

以上で、このアクションの説明は終了です。

10.2 設定ガイド

この節では、アクションのパラメータのくわしい設定のしかたについて説明します。

詳細設定

詳細設定	
読み出し元: © GP SRAMのバックアップデータ © CFカードのバックアップデータ C CFカードのバックアップデータ () GP3000シリーズ () GP3000シリーズ () GP3000シリーズ () GP3000シリーズ () GP3000シリーズ () GP3000シリーズ () GP3000シリーズ () GP3000シリーズ	EX Version 1.32 読み出すデータ選択:
保存先 □ c: [C-Drive] ■ Program Files ■ Pro-face ■ Pro-Server EX ● NpxDatabase (保存アファイル名 WY/WMKDWh/Mm/ks ▼ ゼロサブレス ○ 常に新規ブックを作成 ○ データ追加 第DICジックが開かれている時 ● 処理を終了 ○ 一時ブックにデータを書き込む	テンプレート情報 ・ テンプレートなし ・ テンプレートあり ・ テンプレートあり ・ C* ・ Pro-face ・ Pro-face ・ Pro-Server EX ・ NpxDatabase
	キャンセル

設定項目	設定内容
読み出し元	アップロードするデータの読み出し元を選択します。 ・GP SRAM のバックアップデータ 表示器の SRAM に格納されているデータを読み出します。 ・CF カードのバックアップデータ 表示器の CF カードまたは SD カードに格納されているデータを読み 出します。
GP タイプ	読み出し元となる表示器の種別を選択します。
読み出すデータ選択	 読み出すデータを選択します。 GPシリーズ ロギングデータ 折れ線データ サンプリングデータ アラームヒストリデータ アラームログデータ アラームブロック1 アラームブロック3 アラームブロック4 アラームブロック5 アラームブロック6 アラームブロック7 アラームブロック8

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
読み出すデータ選択	 GP4000/LT4000シリーズ、GP3000シリーズ、WinGP、LT3000 アラームブロック1 アラームブロック2 アラームブロック3 アラームブロック4 アラームブロック5 アラームブロック6 アラームブロック7 アラームブロック7 GP-ProPB専用折れ線グラフデータ(互換用) GP-ProPB専用データサンプリングのデータ(互換用) GP-ProPB専用ロギングデータ(互換用)
保存先	保存先フォルダを指定します。
保存ファイル名	保存ファイル名を指定します。初期値には、%Y%M%D%h%m%s(年 月日時分秒)が設定されています。ファイル名を間接指定することが できます。詳細は「37.1名前の制限事項」を参照してください。
ゼロサプレス	チェックありの場合、保存フォルダ名に %M%D%h%m%s(月日時分 秒)のいずれかが含まれている場合でも、保存ファイル名に「0」を補 いません。 チェック無しの場合、保存フォルダ名に %M%D%h%m%s(月日時分 秒)のいずれかが含まれていて、数値が1桁の場合のみ、保存ファイ ル名に「0」を補います。 初期値は「チェックあり」です。
保存方法	保存方法を以下から選択します。 ・ 常に新規ブックを作成 ・ データ追加 保存ファイル名を固定名で指定した場合。Sheet2 に書き込まれます。
既にブックが開かれてい る時	データ書き出し時に同じファイル名のブックが開かれている場合に選 択します。処理内容を[処理を終了]または[一時ブックにデータを 書き込む]から選びます。 [処理を終了]を指定した場合は、書き出されたデータは保存されずに 破棄されます。[一時ブックにデータを書き込む]を指定した場合は、 書き出されたデータは一時的に別名で保存(ファイル名は %Y%M%D%h%m%s.xlsとなります)されます。
保存形式	Excel ファイル形式 (.xls) とテキストファイル形式 (.csv) がありま す。両方のファイル形式を選択することもできますので、その場合は それぞれの形式のファイルが作成されます。
テンプレート情報	 テンプレートのあり・なしを指定します。 テンプレートありを指定した場合は、テンプレートのドライブ・フォルダ及びテンプレートファイル名を指定してください。 MEMO 指定するテンプレートファイルには、Sheet1のみが存在するようにしてください。 読み出し元に CF カードを指定するときに、アップロードするファイルの No. を指定する必要があります。

詳細設定(書込み設定)

詳設定 書込みパターン	
$\angle \rightarrow \land \downarrow$	
· · · ·	
 ● 書込み範囲限定なし ● セル範囲を限定 A1 IV65536 範囲参照 	
 ○ 項目名あり ○ 項目名なし 	
○ Excelの表示○ 非表示	
© タイムスタンプあり © タイムスタンプなし	

設定項目	設定内容
書込みパターン	読み込んだデータの書込み方向を設定します。
書込み範囲	[書込み範囲限定なし]または[セル範囲を限定]から選択します。 [セル範囲を限定]を選択した場合、データを書込むセルの範囲を設定 してください。
項目名	[項目名あり]または[項目名なし]から選択します。[項目名あり] を選択すると、ログデータの項目名が記入されます。
Excel 表示	[Excelの表示]または[非表示]から選択します。
タイムスタンプ	[タイムスタンプあり] または [タイムスタンプなし] から選択しま す。 [タイムスタンプあり] を選択すると、データを書き込んだ時刻が 記入されます。

МЕМО	•	CSV	/形式では指定	主はできません。	書込みパター	ン Z 軸、	書込み範囲限定なし、	項目名な
·		し、	タイムスタン	ノプなしの固定に	なります。			

10.3 制限事項

CF カード内のアラームデータまたはサンプリングデータを読み出す場合の制限について

- GP-Pro EX の日付フォーマット設定は「yy/mm/dd」を設定してください。CF カード内の CSV ファイルの日付データが「yy/mm/dd」の形式でない場合、間違った日付で読み出されることがあ ります。 なお Excel に出力する際、日付データは「20yy/mm/dd」(または「19yy/mm/dd」)の形式で出力さ れます。
- GP-Pro EX V3.12 未満をご利用の場合または Pro-Server EX V1.32 未満をご利用の場合、GP-Pro EX で[外部ストレージの保存先フォルダをファイル数で分割する]機能を使用しないでください。
 [ALARM] フォルダや [SAMP**] フォルダのサブフォルダ内に保存されているファイルは読み出しできません。

SRAM 内のアラームデータまたはサンプリングデータを読み出す場合の制限について

GP-Pro EX の日付フォーマット設定にかかわらず、日付データは「yy/mm/dd」として扱われます。
 Excel に出力する際、日付データは「20yy/mm/dd」(または「19yy/mm/dd」)の形式で出力されます。